

# 袋井南中学校2年生 袋井版学力・学習状況調査結果について

## 1 学力調査の概況

	国語	数学
本校	◎	◎
袋井市	△	○
静岡県	○	○

※全国の平均正答率と比較して (◎:大変高い ○:高い △:同程度 ▲:低い)

2 教科共に、全ての項目において、全国平均及び袋井市平均を上回っていた。

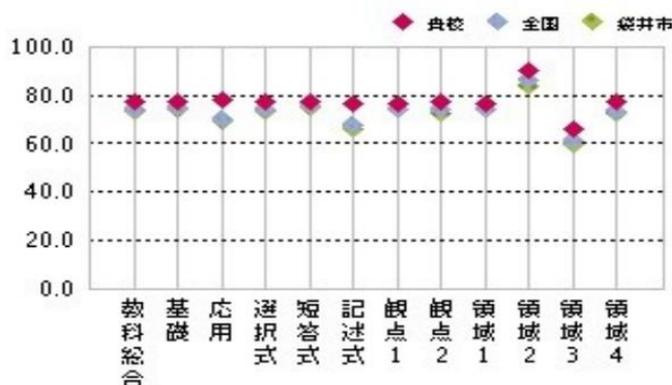
●平均正答率/平均スコア



## 2 各教科の分析と今後の取組

### (1) 国語

●教科総合・基礎/応用・出題形式・観点・領域別 平均正答率(%)



観点1 知識・技能  
 領域1 言葉・情報・言語文化  
 領域3 書くこと  
 観点2 思考・判断・表現  
 領域2 話すこと・聞くこと  
 領域4 読むこと

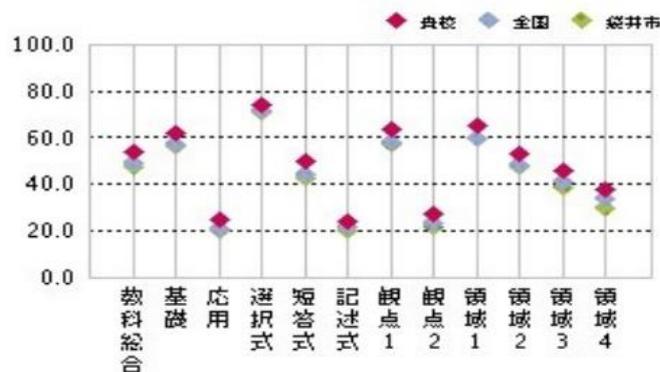
○全項目で正答率が高かった。特に音声を聞いて理解し、問題に回答する「話すこと・聞くこと」の領域の正答率が高かった。

▲例示された文章の推敲や校正に関する「書くこと」の領域での正答率がやや低かった。

⇒授業の中で記述する機会を増やすとともに、AIドリルなどを効果的に活用することで一人一人の状況に応じて、知識・技能の確実な定着の仕方を工夫する。

### (2) 数学

●教科総合・基礎/応用・出題形式・観点・領域別 平均正答率(%)



観点1 知識・技能  
 領域1 数と式  
 領域3 関数  
 観点2 思考・判断・表現  
 領域2 図形  
 領域4 データの活用,

○全国平均及び袋井市平均と比較しても、全ての項目で正答率が高かった。特に正負の計算をしたり、方程式や比例式を解いたりする「数と式」の領域の正答率が高かった。

▲中央値を解答したりデータの特定の値について根拠を説明したりする「データ活用」の領域が低かった。

⇒他教科との連携を図り、数学の授業に留まらず、様々な場面でデータを読み取り、活用する機会を設定する。